

神和台

平成10年6・10

第63号

平成10年度自治会スタート



会長 山崎 辰治

本年度は、神和台の町が発足しまして、数えて二十年目の年になります。この様な節目の年に、会長に選ばれました事は、私にとりまして、誠に光栄な思いが致しております。一方では大きな責任も感じています。

二十年目と言う年でもあり、住民の皆様方のご理解を得られるようでしたら、二十年と言う年に相応し、盛大な記念行事を、催していかねばならないのではないかと考えています。これまでに先輩諸氏が築き上げられました我が自治会を、更に一步でも前進させるべく「住民の住民のための自治会」を旨とし、微力ながら全力を尽くす所存ですので、住民の皆様方の絶大なるご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

一丁目副会長 堀尾 正幸

十八年前は、神和台も子供や若者が多く、活気あふれる街でしたが、最近では、昔の若者はかりとなり、典型的な高齢化社会の街となつてしまいました。

現在の自治会の状況は、まだ十分理解しておりませんが、地域住民の期待に応えるよう頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

二丁目副会長 福井 利子

今朝も早くから、カラスが四羽ゴミステーションの端の電柱や、公園の樹の枝に止まって見張って居りました。ネットの事や、犬の糞害や、色々地域の環境問題等、皆様方のご協力、ご指導をお願いしまして、より住みよい自分達の神和台になりますように、努力して行きたいと思っております。

新役員的面々



防災部長 石田美度里

お受けした限りは、会長はじめ役員の方々のお知恵を拝借しながら、微力を尽くしたいと存じます。防災部の委員になられた方々ともご相談しながら、お力をお借りして「より暮らしよい神和台」を目指していきたいと考えております。

厚生部長 上野久美子

この度、厚生部長をさせて頂く事になりました。初めての事で、何もわかりませんが、一生懸命勤めさせていただきます。

総務部長 長井 功

十八年前、神和台に住んだ時はあちらこちらで子供たちの声が聞こえ「不便な所なのに、賑やかだなあ。」と思ったものでした。今は高齢化がすすみ、神和台もすっかり様相が変わっています。しかし、神和台が住みよい、いい町であって欲しいと願う私たちの気持ちには、変わりがないと信じております。

これまで、ほとんど自治会の仕事と無縁であったことへの罪滅ぼしの気持ちで一年間、尽力させて頂こうと思っております。



環境部長 中尾 竹男

このような大役は、何分たずさわった事がないので、不手際等も多かろうと思えますが、自治会員皆様のご理解とご協力をお願いした上で、役員一同と共に汗を流しながら、今年一年間、地区住民の環境が少しでもよくなり、暮らしよくなるよう頑張りたいと考えております。

会計部長 本岡 京

神和台に入居して四年、街区委員の順番が回ってきて、くじ運がいいのか悪いのか、会計部長の大任を任されることになりました。自治会活動の事はよく分からないのですが、この一年他の役員の方からいろいろ教えていただきながら努力していきたいと思っております。

管理部長 桂 芳一

神和台に入居して十八年という経過を平成元年の名簿をみて改めて知った次第です。十八年も住んで自治会に対して「何も役に立つ事をしていないな」と申し訳なく思っています。管理部長八名で会員皆様の意見を聞き、会則にある、健康で明るく住みよい環境を作り会員相互の親睦を図る、を目的に努力致します。前年度と変わった事業としましては、集会所内外を見直し、神和台二十周年に合わせきれいな集会所にし、種々な活動を楽しくして戴ける様にしたいと思っております。



二〇歳を迎えた神和台

神和台の二十年に想う

初代自治会会長

坂上高志

神和台も二十年の歴史を刻んだ。昭和五十三年三月十八日は神和台に初めて人が住んだ記念すべき日となった。昔、村々では何百年ものゆったりとした時の流れの中で、衣食住や行事などの風俗や習慣を育みながら、人々は生活の規範を作り上げていった。

二十年前にこの地に移り住んだ私達は、当時何を考えこの町をどのようにしようとしていたのであろうか。希望と不安の錯綜する中で、未知の土地に新しい「村」を作るといふ恐らく殆どの人々にとって全く初めての経験をしようにと試していたのだと思う。未知なるものへの興味と好奇心、未経験な事に対する不安と緊張の中で、新しい「村」を作るといふ使命感でみんなが本当に一生懸命であった。最初に自治会を作ろうとした人々は、正に多士済々であった。猛者達であり、侍達であったように思う。情熱とロマンを感じさせる男達であった。また、世話係となって自治会設立の動機を作り、自治会で

は委員となって活躍して頂いた女性の方々は、子供達に対する直向きな深い愛情をほっこりと内に秘めたようなすばらしい人達であった。それらの人々は、何百年もの過去にタイムスリップしてそこから当時を見詰め、猛烈な勢いで時を刻みながら、数年の間に「村」を作り上げようと必死であった。

当時、日本中で団地の開発が急速に行われていた。それは「村」作りの壮大な歴史の実験であったともいえる。当時の神和台でもその流れの中にあって、人々は活動的に熱気に満ちていた。

自治会設立の趣意書には、「今神和台百年の礎を築く時、私達は手を携えて歩き始めた……」と謳い上げられ、人々は便利で快適で安全な町、子供達から老人まで、心のふれあいのある住みよい町の実現をめざした。自治会は、昭和五十三年九月十四日、六十二世帯で発足した。人々の情熱と知恵は子供から老人までのすべての住民の方々の協力のもとで、周辺地域への道路の設置や集会所の建設、バス停の新設など生活の基盤の整備を実現させ、祭りなどの行事も定着させていった。自治会の設立

と相俟って子供会や老人会も発足し活動を始めていた。そして今日まで時は少しづつテンポをゆるめながらゆるやかに二十年を経て、周辺の開発も進み、私達は今、自然と見事に溶け合った素晴らしい環境の下で美しい町神和台に住んでいる。

「年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず……」鶯が鳴き、花が咲き乱れ、緑の山々に囲まれた環境は今も二十年前も変わらず美しいが、人の世は激しく移り変わり、地球温暖化などのグローバル



当初の北公園

な環境問題や少子高齢化の現象などは身近かで重大な関心事となってきた。子供と老人の人口比は大きく変わり、二十年前のおおよそ24%・9%から現在では15%・16%となり老人の数が子供の人口を上回っている。

今私達は再び町作りを考え直してみよう。二十年前を原点として

当時の情熱を取戻し、今度は二十一世紀にタイムスリップしてみよう。未来から「今」を真剣に見詰め直してみよう。取組むべき課題は多いが、高齢化が進む中にある人々の健康の維持と増進こそ、焦眉の急の課題であると思う。三十代からもう肥満が深刻化している。エネルギーの取過ぎと「運動しない生活」が原因とされている。この神和台を肥満、高血圧、高血糖、高コレステロールといった「死の四重奏」の聞こえてくるような町には絶対してはならない。生活習慣を見直して健康を取戻そう。健康で明るく、子供から老人まで元気な人々の住む町にすることこそわが町の誇りとしてい。

井戸端は浮世の風の吹き溜り、知恵の泉の湧く所。自治会の井戸端会議に期待しよう。知恵の泉が湧いてくることを祈っている。

明石海峡大橋が、いつまでも夢の架橋として「歓喜の歌」が聞こえてくるようなわが町の未来と人々の希望の象徴であってほしい。

最後に、神和台の黎明期の人々の情熱と二十年間それを継承してきた人々の弛みない努力に敬意を表すると共に、すべての住民の皆様にご心から御礼申し上げ、今後の御活躍を期待するものである。

神和台のあゆみ

- S 48 神和台宅地造成始まる
- S 53 神和台入居始まる
- S 55 自治会発足 初代会長 坂上高志氏
- S 57 第一回盆踊大会開催 山陽バス停 「神和台口」新設 神和台老人クラブ発足 集会所落成
- S 58 自治会長 正岡 哲幸氏選出 自治会広報誌創刊号発行
- S 59 神戸市より地域活動賞受賞 町内対抗運動会開催 学童保育クラブオープン
- S 60 名谷小学校体育館落成
- S 62 神戸市住宅供給公社三十戸入居 ユニバーシアード開催 集会所増設 5基のカブミラー設置 自治会長 森下 高行氏選出



集会所 落成式

歴代自治会長に感謝

神和台老人クラブ

塩崎 岩雄

神和台誕生二十周年・御目出度う御座居ます。

生みの親より育ての親と云いますが、陸の孤島と云われた神和台を、二十年の成人に育て上げた歴代の自治会長さん、役員さんの御苦勞は、筆舌に盡し難いものがあった事と思われま。

特に神和台入口左側の斜面管理に關する事との交渉等については、一住民として感謝の言葉もありません。改めて厚く御礼申し上げます。



老人会発足式風景

話は変わりますが、神和台にも高齢化の波は容赦なく押寄せて来ました。結成十八年目の老人クラブも、文字通りの老人クラブになり、何とかして活性化をと、日夜心を痛めて居りますが、仲々思うようにはなりません。

今後、神和台の街の益々の発展を御祈りすると共に、老人の住みやすい街作りをお願い致します。「負うた子に浅瀬を教えられ」

子供会の想い出

初代子供会世話役

坂上 朝野

早いもので子供会が発足して今年で二十年になりました。当時の神和台は人居が始まったばかりで戸数もまだ百戸にも満たない小さな町でした。美しい緑の山々に囲まれ、木々を渡る鶯の鳴声や空にさえずる雲雀の声は私達の心を和ませてくれました。

このような素晴らしい自然環境の中で子供達にも何かよい想い出が残るように、みんなが仲の良い友達になれるようにとの思いから有志のお母さん方が集まって話し合い、子供会を発足させました。最初の頃、活動資金を集めるのが大変でした。廃品回収による収入が唯一の資金源だったので、建築現場でダンボールを拾い集めたりしたものです。活動を通じて子供達はずく仲良しになり、お母さん方にとっても、素晴らしい交流の場になっていったように思われます。六年生のお母さんが中心になって世話係となり、あくまでも子供会の自主性を活かした活動をしました。

北公園の広場でドッジ・ボール大会を開催したり、秋には多井畑厄神までハイキングしたのも懐かしい想い出です。その当時は現在のつっじが丘はまだ深い緑にまつまれた山で、その中を「太陽と緑の道」が通っていました。山を越え谷間の道を通って来ました。山を越えながら歩いたものです。また夏祭りに樽御輿を担いで、子供達が町中を練り歩いたのも想い出深い行事でした。手探りから出発した子供会が今日まで引き継がれ、活動が続けられていることを大変うれしく思っています。発足当時のお母さん方の情熱や、子供達に対する愛情に心から尊敬の念を覚えます。またその後も弛みない努力を続けてこられた子供会の多くの方々に感謝したい気持ちでいっぱいです。

子供達のすこやかな成長を心から祈ると共に、これからも温かい目で見守って行きたいと思っております。子供達やお世話していただく



子供会の廃品回収

お母さん方の一層のご活躍を期待しています。

今年神和台に入居してから、二十年目を迎えます。そこで当初より居住されている方達にこの二〇年を振り返り、当時の想い出や苦勞話、楽しかった話等、お願い致しました。

神和台にも高齢化、少子化の波が急速に押寄せて来ています。住民同志のふれあいを大切にしてやさしい町に育てて行きましょう。

お知らせとお願い

神和台住民の交流の輪が広がるようにという思いから次回の広報紙「神和台」(十月予定)で「みんなの声」欄を作ります。

現在、活躍しているサークル、クラブ、ボランティア活動の紹介や募集、新しい仲間作りの呼びかけ等、何でも結構です。

俳句、川柳、短歌、投稿文等も紙面の許すかぎり掲載いたします。どしどしお寄せ下さい。お待ちしています。

尚、自治会に対しての要望や苦情等がありましたら、街区委員に申し出て下さい。

S 63 南斜面地の神戸市へ移管

H 1 道路問題市開発局と交渉

H 1 神和台自主防災協議会発足

H 1 小東山への緑道について説明会を開く

H 2 神和台簡易郵便局開局

H 2 自治会十周年

H 2 パス旅行「三方五湖」

H 2 加藤歯科医院開業

H 3 中東海岸戦争始まる

H 3 神和台文庫に「ユネスコライブラリー100」に選ばれ100冊の本を送られる

H 4 パス旅行「吉備路」

H 4 神戸市より環境美化功労者団体として感謝状を受ける

H 4 自治会長 武田正勝氏選出

H 4 総合運動公園への新歩道の説明会開催

H 4 パス旅行「京都」

H 5 名谷小学校創立120周年

H 5 総合運動公園への歩道完成

H 6 パス旅行「淡路島」

H 6 垂水ジャンクション第1回植樹祭

H 6 納富俊行氏アジア大会銅メダル獲得のちオリンピック出場

H 7 阪神淡路大震災

H 7 柚耶の里開業

H 8 自治会長 瀬尾勢津子氏選出

H 8 O-157の流行

H 9 子供会バレー部が神戸市少年団スポーツ大会優勝

H 9 自治会長 納富二郎氏選出

H 10 パス旅行「信楽」

H 10 二十周年を迎える

(参照 神和台広報誌より)

この件についてどうですか？

(自治会活動を通じて山崎会長にお聞きしました。)

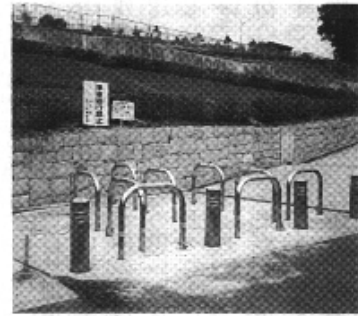
Q1 ごみステーションの現状と今後の対策



A1 現在4ヶ所の生ごみステーションでネコ・カラス等の防護対策として試験的にネット方式を実施していますが、住民からの声として「ネットを持ち上げるスチール製の竿が重たいので改良して欲しい」又環境局からは「取り出し口の一方は開けておいて欲しい」との要望が出ています。近日常に現在使用中の街区の皆様方からアンケートをいただき効果の程をお聞かせ願おうと考えています。結果にもよりますが対応としましてビニールシートで覆い煉瓦石等で

押さえる方式(中山地区で実施している)を試験的に4ヶ所で実施していく事を考えています。皆様方でアイデアがありましたらどしどし街区委員まで申し出て下さい。

Q2 学園東町に通ずる緑道の杭追加設置



A2 ご存じの様に緑道は車両通行禁止です。車両と単車(二輪車)も含まれます。ところが未だに単車で通行しており学園東町の住民が警察に苦情を申し出た経緯があります。又、暴走族が警察官の取締りの制止を振りきり学園東町を通りこの緑道を逃げ場にしてきた事等がありさらに単車が通れない様に杭を増やしたとの事です。(港湾整備局談)尚、車椅子、乳母車は杭に関係なく通行は可能です。

A3 過去3回(H9/8・H10/1・H10/4) 柚耶の里に要

Q3 柚耶の里入浴客の車の駐停車等に拘わる苦情申し出

主な年間行事予定

- 総務部
 - 会員名簿作成
- 管理部
 - 集会所外装工事
 - 備品の点検
- 防災部
 - 小東山一丁目地区の街灯3ヶ所増設
 - 一丁目東斜面階段の側溝柵設置
- 厚生部
 - 住民検診(七月二日)
 - 敬老の日(記念品贈呈)
- 環境部
 - 年2回の清掃
 - ゴミステーションの防護用ネットの設置
- 広報部
 - 年3回広報紙発行
 - 「たるみ」広報紙を配布

転入

- 清水 久範 九年 六月 (神和台一丁目十三三)
- 東川 晃 十年三月 (小東山一丁目一九〇二一八〇)
- 浦田 憲 十年 三月 (小東山一丁目一九〇二一八二)
- 遠藤 真 十年 三月 (小東山一丁目一九〇二一八二)
- 宗政 淳 十年 三月 (小東山一丁目一九〇二一八三)
- 熊本 大造 十年 三月 (小東山一丁目一九〇二一八五)
- 西元 隆 十年 三月 (小東山一丁目一九〇二一八六)
- 小林 豊文 十年 三月 (小東山一丁目一九〇二一八七)
- 婦木 章弘 十年 三月 (小東山一丁目一九〇二一八九)
- 城平 兼幸 十年 三月 (小東山一丁目一九〇二一九〇)
- 田中 康幸 十年 三月 (小東山一丁目一九〇二一九二)
- 大久保 融 十年 三月 (小東山一丁目一九〇二一九二)
- 厚見 吉雄 十年 三月 (小東山一丁目一九〇二一九三)
- 福田 清美 十年 三月 (小東山一丁目一九〇二一九四)
- 吉井 省三 十年 四月 (神和台一丁目二二一三)



訃報

- 平成十年三月九日 岩本栄太郎様 (三一五一十二) 享年 九十三才
- 平成十年三月十九日 田中 敏衛様 (三一五一六) 享年八十六才

車上狙い

最近、2丁目の(泉様他)宅のガレージ内で車上あらしが発生しました。車内に金品等を置かないようにしましょう。

困っています

再三、イヌ・ネコの糞の始末を呼びかけていますが、未だに徹底されていません。苦情の声も多くあり飼い主のマナーが問われます。住みやすい神和台にする為にもルールは守りましょう。

編集後記

未知の世界を担当する事になりまご、まご。野次馬根性を出して今迄知らない自治会の内情をと、思いつく、如何せん若葉マークの身あれも、これもと欲ばっては空回り、この一年広報を通して種々の問題を提起して行きたいと思えます。

松永